



2026年度

能登原23号線2号橋

福山市 沼隈 町 地内

橋梁補修調査設計 業務委託実施設計書

業 務 概 要	当初設計	
	橋梁補修調査設計 (橋長L=2.5m) 詳細調査	N=1橋 一式

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁補修調査設計業務委託（能登原23号線2号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月広島県測量業務共通仕様書、設計業務等共通仕様書、地質・土質調査業務共通仕様書（以下共通仕様書という）、「福山市土木設計業務等委託契約約款（契約書を含む）（以下契約約款という）」、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市測量・建設コンサルタント等業務検査基準」
- ・その他関連規格類
- ・「令和7年度改訂版 工事工種体系ツリー」、「令和7年度 土木工事数量算出要領」

第2節 地元への周知・地権者への承諾

- ・受注者は、地先住民、町内会長、土木常設員に業務着手及び業務完了の報告を行うこと。また、業務着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な業務内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、業務着手の際に、あらかじめ沿線地権者に業務内容等についての説明を行い、承諾を得ること。
- ・業務に伴う伐採等は、業務執行上必要最小限に止めると共に、伐採した有価木は附近に整理し、みだりに第三者に被害を与え、トラブルを生じることのないよう留意するものとする。

第3節 管理技術者及び照査技術者

- ・受注者は本業務において、適格な管理技術者及び照査技術者を配置するものとする。
- 管理技術者及び照査技術者資格要件
技術士又はシビルコンサルティングマネージャーの資格保有者（「設計業務委託等共通仕様書」第1107条）
設計業務の種類：鋼構造及びコンクリート
技術士：技術士法（昭和58年法律第25号）第4条に定める技術部門のうち「建設部門」における上記「設計業務の種類」に該当する資格
シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：上記「設計業務の種類」ごとのRCCMの資格添付書類：技術士又はRCCMの資格証の写し（コピー可）

第4節 担当技術者

- ・受注者は本業務において、担当技術者の配置については、監督員との協議により省略できるものとする。

第2章 業務条件

第1節 橋梁諸元

- ・橋梁名：能登原23号線2号橋
- ・橋長：2.5m
- ・全幅員：9.3m
- ・架橋年度：1940年
- ・橋種：BOX
- ・上部工形式：BOX
- ・下部工形式：BOX

第1節 業務内容

1. 現地調査・業務計画作成

現存の点検結果、図面等による当該橋梁の諸元、状態を把握する。
現地調査による損傷箇所の調査、損傷原因の推定及び設計に必要な項目について調査を行う。
以上を踏まえて、当該業務の実施計画を立案する。

2. 詳細調査

工法選定上必要となる以下の試験を実施するものとする。

電磁波レーダー法：1箇所

コア採取：1本

圧縮強度試験：1検体

はつり調査(0.3×0.3×0.05m程度)：1箇所

全塩化物イオン含有量試験：3スライス

中性化試験(コア側面又はコア割裂面)：1箇所

3. 補修工法検討・原因除去対策検討

当該橋梁の構造特性、施工性、経済性、維持管理等との整合など総合的な観点から3案程度の工法比較を行い、検討する。また、損傷原因となる部位についての対策を検討・設計する。

4. 損傷図補完【上部工】

上部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

5. 図面・数量計算・概算工事費作成【上部工】

上部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

6. 損傷図補完【下部工】

下部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

7. 図面・数量計算・概算工事費作成【下部工】

下部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

8. 照査

設計内容について、現場との整合性、施工性等について着目し照査を行う。

9. 報告書作成

設計業務の成果として、成果の取りまとめを行う。

第3章 打合せ

第1節 打合せ

- ・業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者又は照査技術者が同席するものとする。

第2節 打合せ回数

- ・打ち合わせの回数は、3回とし次の段階で行うものとする。

第1回 業務着手前の段階

第2回 中間打ち合わせ

第3回 成果品納入時

第4章 電子納品

第1節 電子納品

- ・本業務は、電子納品対象業務とする。

電子納品とは、「平成29年度 福山市電子納品実施要領[土木委託編]」（以下「要領」という）に基づき、「調査、設計、業務などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいうものとする。

第2節 事前協議及び検査前協議

- ・業務着手前及び納品検査前に十分な協議を行い、双方の合意を図るものとする。

第3節 電子納品データのチェック

- ・電子納品にあたっては、フォルダの構成、管理項目、ファイル名等の要領との整合性をチェックプログラム（国土交通省の電子納品チェックシステム等）により確認し、エラーがないことを確認すること。
- ・成果品提出の際には、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。

第4節 成果品に係る費用

- ・成果品の納品に係る費用については、従来どおりの経費の扱いに含むものとする。

第5章 成果品

第1節 成果品の提出（電子納品）

提出すべき成果品及び提出部数は次のとおりとする。

福山市電子納品要領に基づく成果品

正 1

副 1

簡易製本 1

報告書 1

第2節 成果品の装丁等

- ・成果品の装丁等は次のとおりとする。
- ・製本は極力分冊を避け、また分冊を行う場合は、内容の配分を考慮して行うものとする。
- ・報告書は、長期の使用に耐える通常の装丁を行う。

第3節 成果品の一部提出

- ・受注者は、業務の実施期間中であっても、監督員が成果品の一部の提出を求めたときは、これに応ずるものとする。
- ・受注者は、前項で提出した成果品について監督員が審査を行うときは、管理技術者を立ち合わせるものとする。

第4節 成果品に係る費用

- ・成果品の納品に係る費用については、従来どおりの経費の扱いに含むものとする。

第6章 その他

第1節 その他の項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。
- ・本業務の履行期間は、完了検査期間として10日間を見込んでいる。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 74 福山市(沼隈) 00-08.06.01(0) 2 委託	≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
発注区分	当世代 41 建設コンサル	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y2B01 レベル1
	1	式			
直接調査費					Y2B0101 レベル2
	1	式			
詳細調査					Y3900 レベル3
	1	式			
コンクリート調査					Y4900 レベル4
電磁波レーダー法 1m ² 程度/箇所					F0001 00
	1	箇所			
コア採取 φ100×200～250mm 程度					F0002 00
	1	本			
圧縮強度試験 φ100mm JIS A 1107					F0003 00
	1	検体			
はつり調査 0.3×0.3×0.05m程度 復旧費・処分費含む					F0004 00
	1	箇所			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
全塩化物イオン含有量試験 JIS A 1154	3	スライス			F0005 00
中性化試験 JIS A 1152	1	検体			F0006 00
直接経費					Y2B010115 レベル3
電子成果品作成費	1	式			Y2B01011501 レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00 単第0 -0001 表
直接調査費					
間接調査費					Z0001
施工管理費	1	式			YZZ0107 レベル2
施工管理費	1	式			YZZ010701 レベル3

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
施工管理費					YZZ01070101レベル4
施工管理費(調査)					S2Z0107X2 00
	1	式			単第0 -0002 表
純調査費					
諸経費 計算情報…… 対象額…… 率……					
業務価格					
消費税等相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
地質調査業務費					

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
橋梁補修設計業務					Y2C04 レベル1
打合せ	1	式			Y2C0401 レベル2
打合せ	1	式			Y2C040101 レベル3
打合せ	1	式			Y2C04010101 レベル4
打合せ 設計業務	1	業務			SA010100010 00 単第0 -0003 表
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C0402 レベル2
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C040201 レベル3
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C04020101 レベル4

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修設計 橋長2m以上15m未満	1	橋			SHDA0061 00 単第0 -0004 表
直接人件費					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4
旅費交通費 (設計)	1	式			SZZ0101X3 00 単第0 -0010 表
電子成果品作成費	1	式			YZZ0102 レベル2
電子成果品作成費	1	式			YZZ010201 レベル3

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品作成費					YZZ01020101レベル4
電子成果品作成費(設計) 概略設計, 予備設計及び詳細設計		式			S2Z0102X3 00
	1	式			単第0 -0011 表
直接原価					
その他原価 計算情報…… 対象額…… 率……					
間接原価					
業務原価					
一般管理費等 計算情報…… 対象額…… 率……					
業務価格					
消費税等相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					

施工単価表

施工管理費(調査)

S2Z0107X2

単第0 -0002 表

頁0 -0010

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
施工管理費	1.00	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

1 式 当り

施工単価表

打合せ
設計業務

SA010100010

単第0 -0003 表

1

業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	1.5	人			
技師 (A)	1.5	人			
技師 (B)	1.5	人			
*** 単位当たり ***	1	業務			
A=1 中間打合せ回数					

施工単価表

補修工法検討・原因除去対策検討

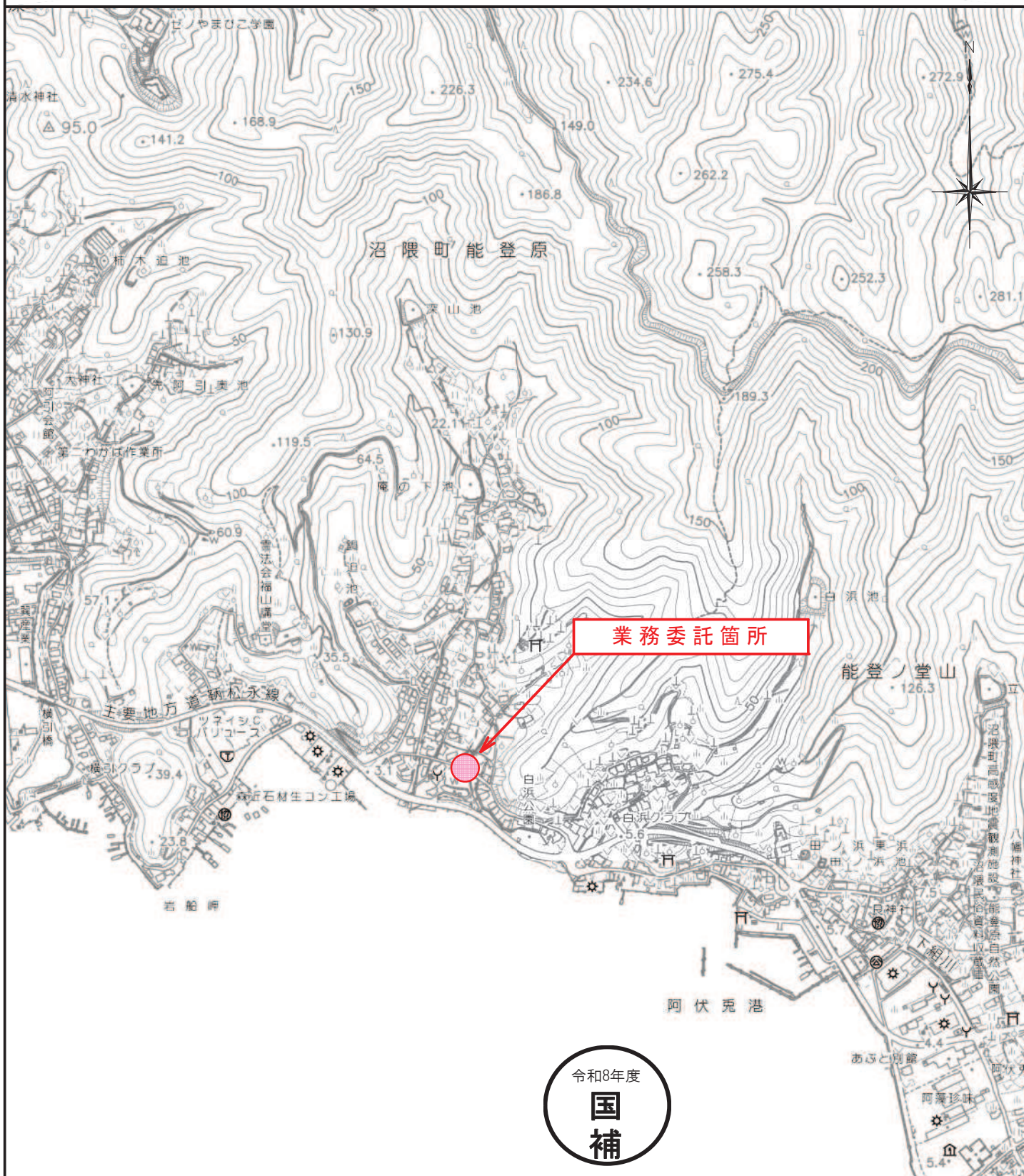
SHDA0063

単第0 -0006 表

頁0 -0014

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考 1 橋 当り
技師 (A)	0.5	人			
技師 (B)	1.5	人			
技師 (C)	1.0	人			
*** 単位当たり ***	1	橋			
A=2 補修工法検討・原因除去対策検討					

位置図 S=1/10,000



令和8年度

国補

業務名 橋梁補修調査設計業務委託（能登原23号線2号橋）

図面名 位置図

作成年月 2026年6月

縮尺 図示 図面番号 1 / 1

事業者名 福山市 沼限建設産業課

